

What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 79》2019年9月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【津久見市／竹田市】



(津久見市)
イルカ島



(津久見市)
扇子踊り



(竹田市)
岡城址



(竹田市)
音無井路円形分水

ラグビーワールドカップ2019™ 大分開催直前イベントを開催

ラグビーワールドカップ2019™日本大会開幕まで1ヶ月に迫った8月24日(土)に大分駅前広場で、大分開催直前イベントを開催しました。

巨大オブジェの除幕式のほか、元日本代表のラトゥウィリアム志南利さんと人気モデルのゆきぽよさんのトークセッションやニュージーランド対オーストラリア戦のパブリックビューイングを行いました。また、パブリックビューイングの前にミュージシャンの村田匠さんと大分・竹田市のラグビースクールに通う子どもたちが両国の国歌を斉唱し、会場を盛り上げました。



開幕に向けて、街なかも賑わってきています。
世界のラグビーファンとともに、一生に一度の感動を分かち合
いましょう！

ラグビーワールドカップ2019™日本大会、チケット好評販売中です。
チケット購入は公式チケットサイト(tickets.rugbyworldcup.com)からのみとなっています。
なお、試合当日は公共交通機関の混雑が予想されます。余裕を持って観戦・観光を楽しむために、試合日の前日から県内に宿泊されることをお勧めします！
会場へのアクセス等については、以下より、ご案内しています。

▶大分ラグビー情報: <https://oitarugby.pref.oita.jp>

▶大分開催コールセンター: TEL:0570-200-165

※日本国外からの場合は、+81-3-6743-2788

Mail: oitarugby@tabiorder.jp

わかあゆ国際交流会と香港の学生が知事を表敬訪問

7月29日に、犬飼町わかあゆ国際交流会と、同会がホームステイを受け入れている香港中文大学の学生の皆さんが県庁を訪れ、広瀬知事に表敬訪問を行いました。犬飼町わかあゆ国際交流会は、香港のドラゴンボートチームが犬飼町を訪問したことをきっかけに結成され、1997年から香港中文大学の学生のべ約200名を受け入れており、今回で22回目の受入となりました。

訪問では、犬飼町わかあゆ国際交流会の田嶋会長からプログラムの説明があり、学生団長の潘嘉俊(ブンガチョン)さんから代表あいさつ、そして参加メンバーの自己紹介がありました。参加メンバーからは「大分はきれいで自然が豊か、星もよく見える」、「牛肉やとり天、野菜など食べ物がおいしい」、「日田の祇園祭りに参加し、熱気を感じることができた」など、さまざまな感想が寄せられました。知事からは、「ようこそ大分へいらっしゃいました。ぜひとも大分の自然や食べ物を満喫してもらって、将来大分と香港の架け橋になってもらうとともに、香港での大分のPRをお願いしたいです。また、今年の秋には、ラグビーワールドカップが開催され、48試合中5試合が大分行われます。時間があれば家族、友人を連れて是非再度来県してほしいです」と歓迎のあいさつがありました。

一行は7月22日に大分入りし、犬飼町でホームステイをしながら地元大学生・高校生との学生交流や日田祇園への参加、神楽、茶道、華道、農作業体験等を行い、8月4日に多くの思い出を胸に大分を離れました。



「志四海プロジェクト」第1回アメリカ海外研修旅行

県立杵築高等学校からアメリカ研修旅行の報告がありましたのでお知らせします！

7月21日から30日まで第1回アメリカ海外研修旅行を実施しました。この研修は、「杵築高校に在籍する生徒を海外に派遣し、国際的な視野を身に付けさせるとともに、前途有為なグローバル・リーダーとして、21世紀の地域社会に貢献できる人材を育成する。」ことを目的として、本校が「志四海プロジェクト」の一環として取り組んでいるものです。

第1回となる今年度は、選抜された3年生4人が、アメリカ合衆国カリフォルニア州のロサンゼルス及びオレンジカウンティにおいて、午前中はカリフォルニア大学アーバイン校での語学研修(5日間)に臨み、午後は日系企業(MAXWAY、前田園USA、サンヨーフーズ)の訪問、在LA日本国総領事館やロングビーチ港湾局、さらにビバリーヒルズ市庁舎にJohn Mirisch(ビバリーヒルズ市長)氏を訪問しました。また南カリフォルニア大分県人会との交流も実現し、中身の濃い実り多い10日間となりました。



ビバリーヒルズ市庁舎前



UCIでの授業風景

李 婷(り てい) 研修員レポート -九重町の魅力について-



8月4日、一人で九重町を訪れました。九重町は農業と観光を主にして発展している町です。ここにはタデ原湿原や歩道専用として日本一の高さの九重“夢”大吊橋、日本一の地熱発電所、九州最大級のスキー場などがあります。時間の関係で、私はタデ原湿原と九重“夢”大吊橋を見学しました。そこで心を癒やされる景色を味わいました。タデ原湿原ではヒゴタイという珍しい植物を見ました。また、白い煙がたっている活火山も見ました。半日で山に登り周辺のたくさんの温泉を体験するのはとても素晴らしいと思います。



タデ原湿原

その後、九重“夢”大吊橋を歩き、橋から谷間を見渡しました。青々とした山の姿と二つの滝が見えました。春にはホトトギス、秋にはきれいな紅葉、冬には360度の雪景色が見られると言われています。そのほかに、牧場が多くあり、私はアイスクリームとヨーグルトをたくさん食べ、団子汁という郷土料理も食べました。濃厚な味でとても美味しかったです。また、10月の終わりあるいは11月の始めに、もう一度紅葉を見に行きたいです。



九重“夢”大吊橋

めじろん海外サポーターレポート 「コロンビアの旅」～第2弾～

みなさん、お久しぶりです！私の名前はシャントル・ディカーソン (Shantel Dickerson) で、大分県のめじろん海外サポーターの一員です。記事を読んで、めじろんがコロンビアでやったこと、食べたもの、勉強したことについて発見しましょう。



シャントルさんは、2016年7月～2018年7月まで別府翔青高校でALT(外国語指導助手)として勤務し、帰国の際にめじろん海外サポーターに任命されました。



1. めじろんの後ろのサルたちが見えますか？「ティティ」と言って、学生寮の近くでバナナを食べています。



2. その後、めじろんがマチェーテを使って、サトウキビを刈りました。



3. 後ろのマシンがサトウキビを絞って、サトウキビジュースができました！



4. コロンビアの地元果物の「サワーソップ」も見つけました。甘酸っぱく、バナナのような滑らかでクリーミーな食感で、おいしかったです！



5. ハチの巣を見ることもできました！写真の黄色いものは、小さなハリナシミツバチです。とても甘いはちみつを作り、人を刺しません！そのおかげで、めじろんは無事でした。



6. コロンビア式コーヒーも味わってみました。めじろんは、ブラックで飲むのが好きです。コロンビア人たちは、ブラックコーヒーのことを「tinto」(「ティント」)と呼びます。

これからもめじろんの冒険をお楽しみに！

市町村からのお知らせ【宇佐市】

宇佐市から最近の国際関係事業についてお知らせします。

外国人観光客受入マニュアル、インバウンドパンフレット作成

2020年の東京オリンピックに向けて更なる外国人観光客の増加が見込まれ、市内の観光関係事業者からも「どのように受け入れをしたら良いか」といった声が多く寄せられています。

そのため、より良いサービスを提供するための基礎知識や役立つノウハウなど、インバウンド対策に活用できる情報を盛り込んだ「外国人観光客受入マニュアル～Welcome to U s a C i t y～」を作成しました。また、観光PRのため4言語（英語、韓国語、簡体字、繁体字）のパンフレットを作成しました。

多言語標記観光案内看板の設置

国内外の観光客を歓迎するために東九州自動車道四日市インター付近に設置している鳥居型看板を更新しました。また、宇佐市・豊後高田市を紹介する広域観光案内看板に英語標記を追加しました。



おんせんおおいたWi-Fiの設置

「おんせんおおいたWi-Fi」は、外国人旅行者の利便性向上や県内の観光・交通情報の発信力強化などを主な目的とした、誰でも無料で利用できる公衆無線LANサービスです。県内でも多くの観光地に設置しており、宇佐市内でも3箇所（宇佐八幡駐車場、双葉の里、東椎屋の滝駐車場）に設置し、周遊観光の充実を図っています。



韓国慶州市友好親善都市交流事業

韓国慶州市とは、1992年に友好親善都市を締結し、古代からの文化交流を現代に復活させ地域文化の復興及び国際社会に対応できる人材育成を図るため交流を行っています。昨年度は、「安心院フェア葡萄酒まつり」に慶州市を招待し、トッポギやチヂミなどの販売や観光PRを行い、慶州市で行われた「新羅文化祭」に参加し友好の絆を深めました。

今年度は「慶州さくらマラソン」に参加しスポーツ交流を行いました。



【宇佐市 観光まちづくり課】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（9月）

News

【8月1日(木)】アミュプラザおおいた 一億人突破！

JR大分駅ビル(大分市)の複合商業施設「アミュプラザおおいた」の累計来館者数が7月23日時点で、1億人を突破しました。2015年4月に開業し、1560日(4年3ヶ月)での達成です。九州にあるアミュプラザの店舗のうち、博多の724日(約2年)に次ぎ2番目に早い達成となりました。単純計算すると一日に約6万人が来場していることとなります。31日には同駅府内中央口で記念セレモニーが行われ、開業5年目にちなんだあんパン555個の無料配布もありました。

News

【8月14日(水)】泊まって満足 大分が1位

「じゃらん宿泊旅行調査2019」の「総合的な満足度が高い旅行先」の項目で、大分県が全国1位になりました。前回8位から大きく上昇し、14年連続でトップだった沖縄県を上回りました。県観光政策課は「昨年、県内であった国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭の影響では」と分析しています。「魅力的な宿泊施設が多かった」の項目も64.0%が満足と答え、4年連続で1位。「観光施設・体験が充実しているか」を世代別に聞いた項目でも、それぞれ全国上位に入りました。

News

【8月20・21日】世界が認めた「大分の酒」

県内酒蔵メーカーの国際酒類コンクールでの受賞報告が県庁で20・21日に行われました。

南酒造(国東市安岐町、南瑠美社長)はスペインで開催された国際酒類コンクール「CINVE(シンベ)」の焼酎の部で、同社の「喜納屋(きのや)」が金賞、「とっばい」が銀賞を受賞しました。また、八鹿酒造(九重町、麻生益直社長)は「八鹿スパークリングNi.ji」という県産の米・水で造ったスパークリング純米酒が国内外(英国、フランス、東京)の3コンクールで部門最高賞を受賞しました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



台風の状況で今年の姫島盆踊りは延期されましたが、週末に開催されたため仕事を休まずに行けました。

ダンスの動きを忘れてしまった地区の子供達の可愛らしさや一般の方の踊りのなめらかさ、熱意、そして時にはコメディ的な面に感動しました。姫島のALTと一緒にいき、私も姫島小・中学校のほとんどの子供達に会っているので、聴衆に座っているのを見た子供達の反応がとても可愛かったです。しかし、私達以外に浴衣を着ている人が一人もいなかったのは少し恥ずかしかったです。次の祭りは必ず事前に確認します！

行きのフェリーでは赤く染まれた絵のような夕焼け空と帰りは素敵な満月が見れて、さらに特別な夜でした。



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)





金 眞雅
(Kim Jina)

第22回韓国語によるスピーチ大会が高崎山おさる館で開催されました。私はこの大会に毎年審査委員として出席しています。今年は高校生と大学生ら21人が出場し、今まで磨いてきた韓国語の実力を発揮しました。好きなK-POPアイドルのことや韓国の文化などについてスピーチし、「韓国語をもっと勉強したい」「韓国に留学したい」「韓国人と友達になりたい」というどれも微笑ましい内容でした。参加者の技量も年々向上していて、特に今年は全員に賞をあげたいぐらい審査に苦労しました。

日韓の架け橋になりたいという夢を語った高校生の参加者を見て、6年前、日本語スピーチ大会に出場したときの自分が思い浮かび、感慨深かったです。ぜひ、その夢を叶えてほしいです。



少し前に、「大分県マンドリンフェスティバル」の演奏会を見に行ってきました。恥ずかしながら、酷い音痴で、音楽を観賞するどころか、楽器の種類もあまり詳しくありません。しかし、せっかく知り合いの中に演奏者として登場する人がいるので、わくわくして開催地の竹田市総合文化センターへ向かいました。

マンドリンといえば、可憐な音色でロマンチックな曲を奏でるイメージは強いけれども、当時の演奏会ではジャンルも時代も多岐にわたる選曲で、加古隆のケルテットの「パリは燃えているか」から黒うさPの編曲したボーカロイドソングの「千本桜」まで幅広いメロディーを聞くことができました。

個人的に一番感心した演奏は、丸本大悟の作品の「杜の鼓動～魂の還る場所～」です。神社や寺院の周りの森をイメージした曲で、人と自然との調和を描く美しい旋律でした。ちなみに、「大分マンドリンオーケストラ第32回定期演奏会」が十月に大分市内で行われる予定です。お時間があれば是非マンドリンの魅力を実際に感じてみてください。



シェ シンラン
(Xie Xin Lan)



8月17日に昭和電工ドームで大分トリニータと鹿島アントラーズの試合があり、2時間前に着いた時スタンドにはもう人がいっぱい、席を探すのに時間がかかりました。前半はどちらもゴールできませんでしたが、後半になると試合がもっと激しくなりました。70分頃鹿島アントラーズの対馬選手がゴールしました。大分トリニータはシュートのチャンスが何回かもありましたが、残念ながら得点できませんでした。結局0対1で鹿島アントラーズに負けてしまいました。

しかし、現場でファンと市民の強い情熱を感じました。老若男女を問わず、愛する大分トリニータの応援に来ていました。みんなの手拍子が応援団の太鼓のリズムに応じているのを見て、偽ファンの私はできないと実感しました。実は私にとって試合の結果より、外へ出て日本人の多様な生活のそのままの姿と現場の雰囲気味わうほうが大切だと思います。



ピョウ センテイ
(Miao Zhanting)



県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

話題提供のお願い！



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:藤原【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp